

# 日本医師会 中川俊男新会長 誕生に思う

釧路市医師会  
釧路皮膚科クリニック

## 足立 功一

今から47年前、私が教養課程2年時の医学概論の授業に、当時の日本医師会会長武見太郎先生が来学され先生の講義を受けたことがある。当日は朝から教室周辺は人の出入りが多くざわつき、講義の前には担当教官から講演を拝聴する心構えまで訓示を受けた。武見会長は医学部長はじめ多数の当大学関係者（特に慶應大学出身者）を従えて入室された。シーンと静まり返った教室内で発せられた第一声は野太く大きな声でその迫力に圧倒された。講義の内容は医師としての倫理を話されたことと記憶しているが、それより驚いたのは、武見先生が書いた黒板の文字を助手ではなく、学部内でも発言力のある某教授がせつせと消していたことである。

今でも頭の片隅に残っている先生の話は、会長の政治家に対する診療姿勢であった。会長は「私は日本医師会会長となった今でも銀座の診療所で診察をしているが、時に政治家が受診してきたときは他の患者さんに予めお断りして優先的に診察しており、その診療代は患者自らに決めて払ってもらっている」と話された。

当時の武見先生はケンカ太郎とも言われ、1961年には全国一斉休診運動を医師会内でも賛否両論のある中強行し、厚生官僚との徹底的な対決をも辞さず、厚生大臣が就任した際には厚生大臣の方から就任挨拶に来ていたくらいの権力を持った会長だった。そんな会長がなぜ政治家を優遇するのか不思議であったが、会長曰く「政治家と言うのは国民のためにすべての時間を割いて奉仕活動する人間であるから、一分足りとも時間を無駄にさせてはならないからである」と話された。

時は過ぎ、私が釧路市医師会の理事として活動していた頃、中川俊男先生と初めてお会いした。当時私は釧路市医師会の医政も担当していたが、武見先生のご子息武見敬三参議院議員の選挙の際に中川先生が釧路地方のテコ入れに来釧されたことがある。

先生は私に会うなり「先生の知り合いの先生方を紹介してほしい、二人で病院回りをしましょう」と言われた。休診して市内を回ること若干の躊躇いを抱いたが、私の運転する車で市内の病院やクリニック10数件を回り、各院長に投票をお願いして回った。その時の先生の印象は、何ごとにも積極的に行動し、物事を理路整然と論ずように語られるので、私も嫌とは言えずにお供した記憶がある。

その当時日本医師会には、北大皮膚科医局の大先

輩である青柳 俊先生が副会長として就任しており、ちょうど介護保険制度を日本で創設するために日夜奮闘していた頃であった。私も同じ頃、釧路市医師会病院や准看護学校の運営委員長として医師会運営に携わっており、中央で活動されている青柳先生と釧路のパイプ役を担ったことがあった。東京の会合にも出席し、釧路市に於ける介護保険制度導入に少しはお手伝いさせていただいた。青柳先生はその後副会長を退任されたが、私も悲願であった釧路市医師会病院の改築と釧路市医師会高等看護学校の設立を成し遂げ、その役目を終わらせていただいた。

中川先生は青柳先生の後に副会長となられ、長年辛抱強く職務を全うされ、皆様の信頼を得て今回の勝利に結びつけたのは、まさに中川先生の人徳と周囲の皆様の後押しによるところ誠に大である。

現在、我々はコロナ禍の中でますます厳しい医療経営を強いられ、国民誰もがどの職種も厳しいことは分かりきっている。一つの利益団体として政府からの援助を獲得することも大切だが、先生には敢えてこれから50年先を見据えた根本的な医師会改革、医療改革を期待したい。戦後の高度経済成長期に作られた医療制度は、その後医療費抑制策に転じ安定期に入り、今は停滞期を過ぎて医療崩壊を来しつつある。平成12年に医師法、医療法が改正され介護保険制度が導入され、さらに平成16年に導入された新医師臨床研修制度により釧路市医師会病院は閉院せざるを得なくなった。そしてこれから待ち受けるのは、人口減少と超高齢化、都市化、慢性疾患の増加であり、医療体制も今までの病院完結型医療から複数の病院で患者を診る地域連携型医療へどのようにシフトさせるか、ITを使った中央と地方の連携等大きな課題を突き付けられている。特にコロナ後の世界は経済、医療がどう変わるのか判断が全くつかない。企業倒産、失業者の増加、そして地域での感染症対策や医療連携、立ち遅れるDX（デジタルトランスフォーメーション）をどう構築するか問題は山積している。

武見先生の時代は、1961年に導入された国民皆保険制度を如何に医師会の要求を入れながら国民のため良い方向に推進させるかの25年間であり、あのような強烈なキャラクターが必要とされたのであろう。

しかしながら、中川新会長には広大な北海道の大地で育った視野の広い医師会の代表として、世界の模範となる医療提供体制を構築してほしいと願って止まない。